山歩きのすすめ

えんでみんかえ

※松之山の方言「歩いてみませんか」の意

雪融けを待ちわびたように一斉にブナが芽吹き、夏には「キョロロロロ…」というアカショウビンの鳴き声。日が暮れれば蛍の乱舞。秋には山々が色づき、そしてまた静寂な雪景色がやってくる。ちょっと足をのばして美しい自然の中に身を置き、心と身体を癒しませんか？

モデルコース

上湯の森エリア（約2時間（見学時間含））
地炉 → 750m → 収穫の家 → 300m → 水音の森公園遊歩道 → 350m → 夢の家 → 100m → 地炉

菱の森エリア（約45分）
地炉 → 450m → 温泉街（バス回転場） → 100m → 薬師堂 → 200m → 太鼓橋 → 100m → 明暮の滝 → 300m → 巨大防雪柵 → 300m → 地炉

湯の森エリア（約1時間30分）
地炉 → 550m → 温泉街 → 150m → すみ塗り広場 → 900m → 秋葉神社 → 150m → 千の坂公園 → 450m → 湯尻展望台 → 350m → 地炉

Art 大地の芸術祭作品

宿泊者が、見た夢を綴ることが作品となる「夢の家」。松之山の草木、石、土などで様々なテーマを表現する「収穫の家」。温泉街入口にそびえ立つ「峡谷の燈籠」。ステージ上には松之山の植物をモチーフとした「メタモルフォーゼ」。古民家や豊かな自然と現代アートの不思議な出会いを体感してください。

※「夢の家」・「収穫の家」共通見学料 400円（冬季休館・木曜日定休）

薬師堂

薬師如来が医薬の仏とされることから、歴史ある温泉場にはほとんど薬師堂があります。湯治に訪れた人々は散歩をしながら参拝し健康を祈っていました。毎年小正月にはむこ投げの舞台となります。

湯守処「地炉」

上湯集落にあった築100年の古民家を、源泉の湯やぐら近くに移築。囲炉裏火の懐かしさと重厚な梁（はり）が古き良き田舎の暮らしをよみがえらせます。足休めや、ふれあいの場所にご利用ください。

散歩好きの坂口安吾がよく通った道は、松之山から兎口、湯峠を経て湯本に至る一周8.5kmのコース。疲れると路線バスで温泉街から湯山を経由して松之山に戻ったといいます。安吾の道をたどれば、小説の中にこめられた安吾の思いを実感できるはずです。

【助　成】松之山商工会（地域活性化事前調査研究事業）　【制　作】松之山商工会青年部　【監　修】松之山温泉組合